



NPO 法人流山市国際交流協会
NAGAREYAMA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION

NIFANEWS

発行: NPO 法人 流山市国際交流協会
〒270-0111 流山市江戸川台東 1-4 3F
国際理解サポートセンター内
☎: 04-7128-6007 (月・水・金)
Email: nifa-support@bz04.plala.or.jp
http: nifa-home.sakura.ne.jp/

「多文化共生」という言葉は、日常語になりつつあるようです。この意味を考え、活動を率先するのが「多文化共生マネージャー」(タブマネ)。NIFA の会員である金淑花(キム スクハ)さんは、その資格を持つ一人です。金さんは、千葉県の 2025 年度「チーバくんグローバルパートナーズ」にも選ばれました。



なぜタブマネに? いざ、というときこそ



生活レベルの日本語ができる私にとり、日本の暮らしは不自由を感じないものでした。けれども 2011 年、東日本大震災が起きた時、聞こえてくるのは普段使う日本語とは違い、初めて聞く難しい言葉ばかりでした。初めての日本語は理解できず、自分の身の回りに何が起きているのか分からず不安でいっぱいでした。周りの日本人からは「大丈夫」の一言で、詳しい説明を受けることはありませんでした。

そのとき、日本社会のルールや常識・知識がないためにどう対処すればいいのか、自分の子供達をどう守ればいいのか分からない自分の弱さに気づきました。不安な気持ちちは自分だけなのか、災害にあった外国人はどうしているのか、気になりました。

でも新聞やニュースの情報だけでは知ることはできず、そのまま時間が過ぎていきました。災害に関する情報は難しい言葉ばかりで、理解できないことも多かったです。自分が選んだ日本で安心安全な生活のために、「知る」ことの大切さを、そのとき感じました。

そのような中、千葉県コンベンションビューローで開催された「災害」に関するセミナーに参加し、そのときに初めて東日本大震災時に外国人はどうしていたのか、どんなことが起きていたのかを聞きました。これこそまさに自分のことであり、知りたかったことでした。

多くの外国人は災害に関する知識がなかったことや、情報を得る手段が分からなかったことで混乱し、被災者が増えたことをとても残念に思いました。日本で生活していくために、日本をもっと知る必要があると実感しました。その後千葉県のセミナーに参加しているときに、「災害時における外国人への支援セミナー」(クレア(注)主催)の案内があり、参加することになりました。そこで初めて「多文化共生」の意識や在り方などの取り組みについて、日本では計画的に進められていることを知りました。けれども当時、ここ流山では聞いたことがない、あまり知られてない言葉でした。私自身 NIFA で活動していながらも、いろいろな文化を持つ人達のために、何ができるのか何をすればいいのか分かりませんでした。そのようなときに「多文化共生マネージャー養成課程」があり、それに参加することを勧められ、流山市と NIFA の支援を得て資格を取得することになりました。

「多文化共生マネージャー」として、災害時に単なる多言語の情報を提供するだけでなく、普段より地元の人たちと外国人が協力し合う、互いの理解が深まる環境づくりを目標として活動を続けたいと思います。これから、多文化共生とは何か、流山市での多文化共生についても NIFA ニュースで考えていきたいと思っています。



(注) クレア: 一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR) のこと

My Memorable Home

おしえて あなたの心のふるさと

悠久の歴史と現代が共存する街 北京

胡 夢然さん 中国出身(日本語講座事業部)

私は胡夢然(こ むぜん)と申します。中国の首都・北京から来て、流山市に住んでいます。北京をご紹介しますと嬉しく思います。

北京は多くの王朝の都です。悠久の歴史と 8 つの世界遺産があります。近年ではおしゃれな建築物と、広い道路ができ、北京はだんだん若くなっています。

北京といえば、「故宮」(こきゅう)が思い浮かびやすいでしょう。故宮は別名「紫禁城」(しきんじょう)と言って、北京の中心部に位置します。明・清両時代の皇帝の宮殿です。故宮に入ると、重々しい歴史感に抱かれます。雪が降る日には、その白さと宮殿の壁の赤と、瑠璃色に輝く瓦が映えて見事な美しさです。故宮の記念品も購入できますので、こちらもぜひ訪ねてみてください。

同じく皇室庭園である「頤和園」(いわえん)も北京で人気のスポットです。「頤和園」の中心に「昆明湖」(くんみんこ)があります。暖かい時にはボートに乗れます。寒い冬には中国式の氷遊び「冰车」(ビンチェ)が体験できます。この辺りには本場の北京ダックの店があります。

名所旧跡を見て、近くの胡同(フートン)を散歩するのがおすすめです。胡同は人々が実際に生活しているところで、個性豊かなカフェと市場があります。陽光注ぐ午後、胡同で美味しいカフェとお菓子を味わうのは最高のひとときです。



頤和園



頤和園内(上)十七孔橋(じゅうしちこうきょう)
(左下)仏香閣(ぶつこうかく)
(右下)冰车(ピンチェ)の様子。※冰車は、氷上遊具

その他、「万里の長城」や「雍和宮」(ようわきゅう)などあります。時間があれば、ゆっくり見てください。きっと忘れられない旅になるでしょう。北京には、面白い場所がたくさんあります。皆さん一緒に探しましょう。

私は子供の頃、よく家族や友人とこれらの場所を訪れました。なのでこれらの場所を思い出す度に、楽しかった少年時代の記憶が浮かび上がります。そして歴史的建造物は、中国の伝統的文化と歴史に興味を抱かせてくれます。今では新しい国を訪れると、その歴史をもっと知りたくなります。

今私は NIFA で安江先生に日本語を教授してもらっており、少し言葉が通じます。ですから、毎日私は日本の新しい魅力に気づきます。どうもありがとうございます！

(日本文も胡夢然さん執筆)

我心中的故乡



奥様と一緒に

有悠久的历史 and 现代气息并存的城市 北京

胡 夢然 (中国)

我的名字叫胡梦然，来自中国的首都北京。很高兴能和大家介绍我的家乡，希望大家有机会亲自感受它的魅力。北京曾经作为很多朝代的首都，有久远的历史和众多名胜古迹。近些年，华丽的建筑和宽敞的街道也让这座城市看起来更年轻了。

提起北京，很多人首先便会想到“故宫”。故宫又称紫禁城，位于北京的中心。是明清两朝代皇帝的皇宫。一进入到故宫，就能触碰到厚重的历史感。下雪的时候，白雪、红色的宫殿和黄色琉璃瓦相得益彰十分美丽！大家也可以买到各式各样的故宫纪念品。请一定不要错过这里。

同样作为皇家园林的颐和园也是很有名气的。颐和园中有[昆明湖]。天气暖和的时候可以在湖里泛舟，而冬天更可以体验到非常有趣的冰车运动。最重要的是，这附近的烤鸭店很正宗。

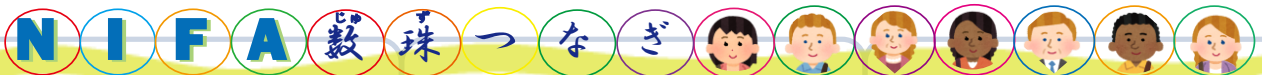
看完名胜古迹后，去临近的胡同转转是个好主意。在这些人们实际生活的街区里，隐藏着很多很有特点的咖啡厅和小店铺。一个充满阳光的午后，在胡同里享用美味的咖啡和甜点绝对是美好的体验。

此外还有“万里长城”，“雍和宫”等地也都很吸引人。如果有时间的话，值得好好游览一番。不论哪个景点一定都会成为很难忘的旅行记忆。北京还有很多这般有趣的地方等待大家一起探索。

我小时候经常和家人或朋友一起去这些地方。所以每次想起这些地点都会回忆起快乐的童年。

这些历史建筑也让我对于国家和文化有更多兴趣，我对于历史更好奇了。每到一个地方，我更愿意去了解这个地方后面的历史。

目前我在 NIFA 和安江老师的帮助下学习，并逐渐掌握了一些日语。正因如此，我才有能力发现并体会到日本的魅力。非常感谢 NIFA 和安江老师！



高橋修作(たかはししゅうさく)さん
外国語講座事業部

◇出身：
千葉県
◇趣味：
ゴルフ・
寄席巡り



流山には44年間の全国転勤を終え、6年前より住んでいます。

翌年からコロナ禍で制限していた様々な活動を2年前より再開し、英会話教室も1年半が過ぎました。インバウンドの外国人対応や、海外旅行時に少しでも困らないように継続したいと思っています。

荒木和代(あらきかずよ)さん
外国語講座事業部

◇出身：
東京都
◇趣味：
ケーキ
作り



昨年の暮れより NIFA の経理を担当させていただくことになりました。よろしく願いいたします。大好きなお菓子作りとお花のレッスン受講、NIFA の英会話サロンで生活を楽しんでいます。

公田悦子(こうたえつこ)さん
文化講座事業部

◇出身：
広島県
※右の写真
はレオナル
ドさんと



外国語で合唱するワールドハーモニーに属しています。先日は、ベネチア出身のレオナルド氏に「ベネチアの舟歌」の発音を教えていただきました。遠い昔に訪れたベネチアに思いを馳せながら、至福の時を過ごしました。

シリーズ NIFA の日本語講座 ① ～ 多様な要望に応じています ～



NIFA は江戸川台の「国際理解サポートセンター」で外国出身者からの相談に応じています。(市の委託事業)

最近の相談で多いのは、日本語を学びたいというものです。日々の生活のため、職のため、日本の暮らしに慣れるため、学校からのプリントを理解するため、等々さまざまですが、いずれも切実です。

NIFA はこうした要望にできるだけ応じられるよう、準備をしています。成人向けには毎週水曜日に中央公民館で開催する講座(中央公民館教室)と、日時・場所を受講希望者にできるだけ合わせるように運営している講座(江戸川台教室)があり、いずれかを選ぶことができます。

NIFA のこれらの講座は、どちらの教室も 1 対 1 が基本です。学びたい人の要望や日本語の習熟度に応じ、授業のプランを作り、進めています。いわば個人指導のスタイルなので、信頼関係は深まります。時には受講生から相談されることもありますし、一方では受講生から出身地の事情を紹介されたり、考え方、習慣の違いに触れることもあり、自然に異文化交流を体験する機会にもなります。講師の方の楽しみでもあります。

以上の他に市内の小中学校に行き、外国出身の児童、生徒に取り出し授業を行ったり(委託事業)、近年は市内の高校でも同様の支援を行うなど、NIFA の日本語講座も多様化しています。

次回から中央公民館教室、江戸川台教室、委託事業について紹介します。



日本語を考え、教える、とは? ～ 日本語ボランティア養成講座修了 3 月 22 日 ～

年明け間もなく始まった講座も、修了の日を迎えました。外国出身者が日本語を学ぶ手助けになればと、関心のある方が集まり、毎週土曜日の午後、10 回の講座を開催しました。講師の吉田聖子先生の指導のもと、グループ討論や発表を重ね、日本語、教えることの意味などについて研鑽(けんさん)を重ねてきました。「あらためて、当たり前話している日本語の難しさを感じたのではないのでしょうか」講師のこの問いかけは、まさに講座のテーマでもありました。

締めくくりに、吉田先生からの贈る言葉です。「これで終わりではなく、ここからがスタートです。これをきっかけに、新しいことを始めたり、新しい見方ができるようになることを願っています」「好きな時に始め、好きな時に辞められる、無理なくできるのがボランティアです」



講師の吉田聖子先生



講師・スタッフ・受講生の皆さん

3 月は節目の月。修了証を受け取った後も皆さん部屋に残り、ラインや写真を交換している様子は、学び舎の懐かしい光景そのものです。

NIFA にとっても初めての主催講座、準備、運営を担当して下さったスタッフの皆さんも晴れやかな表情でした。14 名の受講生の皆さん、寒い時期にもかかわらずほとんどが皆勤でした。

NIFA の日本語講座の運営についても質問がたくさん。既に新年度から数人の方が、講師デビューをしています。

にほん ふだん たいけん

日本の普段を体験してもらう

めいゆうにほんごがくいんせい

～ 明友日本語学院生のホームビジット受け入れ ～

この春、久しぶりにホームビジットの受け入れがありました。明友日本語学院柏校で日本語を学ぶ学生のうち、ベトナム出身の皆さん5人を、それぞれホームステイ・イベント事業部の方、その他の会員の方が迎えました。ビジットは半日から1日、日本の家庭に迎え入れ、普段の生活を体験してもらおう、というものです

学院が春休みの3月後半、学生の皆さんにも貴重な、そして楽しい体験だったようです。「公園を散歩したり、野球をしたりして、とても楽しい時間を過ごすことができました」「日本文化への理解も深まり、ますます興味が湧いてきました」「私は仏壇に行き、線香を上げて故人に挨拶をしました。それは良い文化だと思います」「将来の目標の話ができてうれしかったです」等々の感想が届けました。

ホストの方からも「小学生の孫たちと一緒にのお好み焼きを作り、運河の眺望の丘でお花見を体験してもらいました。孫たちも外国

のお姉さんとふれあう貴重な体験ができました」といった感想をお寄せいただいています。

ささやかでも、こうした交流が春を彩ります。

かきはやし
柿林ファミリー ↓



← 山田ファミリー



かとう
加藤ファミリー ↑

NIFAの活動はこの日に終わり、この日に始まります

～ 4月26日 通常総会 中央公民館にて ～



にしやましんかいちょうれつぜんれつちゅうおう
西山新会長（前列中央）と会員の皆さん

NIFAはこの日に2024年度の活動を振り返り、決算を承認し、2025年度の活動計画と予算を決めました。また2年ごとの役員改選期でもあり、会長、事務局長が交代しました。8年ぶりのことです。

当日は、流山商工会議所、流山ロータリークラブ、流山中央ロータリークラブの方を含め、33名の正会員の皆さんが出席、各事業部長も報告、提案で発言、質疑もあつてなかなか活発でした。

会議後は、その場で模様替え、懇親会



です。普段メールなどで交信していても顔を合わせる機会の少ない昨今、互いを知るよい機会にもなりました。ホームステイ・イベント事業部の皆さんが用意して下さった豪華な食事に、お腹も満たされました。来年は4月28日(土)に開催します。

会議後には懇親・イベントを予定します。今からお知らせします。

懇親会の様子

台湾修学旅行へ繋ぐ絆

～ 流山高等学園と興大附属農業高校 Zoom交流会に通訳派遣 ～

流山高等学園と興大附属農業高校のZoom交流会に通訳として参加でき光栄でした。12月の台湾修学旅行での興大附属農業高校訪問の事前交流として、流山高等学園の図書室で行いました。生徒代表挨拶、学園紹介ビデオ、興大附属農業高校による台湾原住民の歌、観光・食文化の質疑応答が実施され、生徒たちが笑顔で交流を深める様子に大変嬉しく思いました。

当日、私は放送室におり、外の様子が直接見えませんが、後で写真を拝見したところ、生徒たちの活発な活動や協力する姿に感動し、この交流の意義深さを改めて実感いたしました。

この交流会を通じて生徒たちは新たな価値観や学びを得、今後の成長の糧となること、そして両校の絆が一層深まることを心より願っております。(3月13日 李明勲)



♥ワールドダンスフェスティバル ～ 民族の底力 ～



5月10日おたかの森S・C 森のまち広場にて「ワールドダンスフェスティバル」が開催されました。このイベントは、NIFAの会員・宇田桜子さんが発案し、文化協会の主催、NIFAの共催で実現しました。文化講座事業部ラテンダンスのメンバーも参加し、民族舞踊や伝統楽器を通じて、言葉を越えた心の交流が広がる場となりました。宇田さんが発案に込めた想いを文章で寄せて下さいましたので、以下、ご紹介致します。

異文化交流とは、いつも新しい発見が伴い、本来とても楽しいものです。しかし、言葉や習慣が違ふと、どうしても受け入れられないことがあります。今やネットでは、会ったこともない他人や、外国人への誹謗中傷の言葉で溢れかえっています。更にコロナ以降は交流の場が減り、孤独や生きづらさを訴える人が増加しています。

そこで、非言語で繋がれる異文化交流ができたところ、世界共通の言語とも言われるダンスがよいと思い、立案しました。今回は特に民族舞踊や民族楽器の演者をお呼びしました。なぜなら、そこにはパワーがあるからです。昔から地域の民族は、ダンスや楽器を使ってお祭りをしてきました。しかし、先住民族は虐げられ、言葉や文字を奪われた歴史もあります。それでも民族舞踊や楽器を通して、後世に受け継がれてきたものがあるのではないのでしょうか。

当日の朝は雨で出演は叶いませんでしたが、オープニング

予定だった和太鼓の演奏を初めて聞いた時、日本の先人達からのエールが届いたように感じました。「日本から世界へ」そんな意味を込めて、世界中の民族舞踊や楽器演奏者に来てもらいました。

今回の出演団体は、ベリーダンス、タブラ、インド古典舞踊、インドムービーダンス、ポリネシアンダンス、パルー民族舞踊、キューバンサルサ、アフリカダンス、サンバカーニバルダンスなど幅広いジャンルが集まり、音楽と世界観がガラッと変わったので、全然飽きなかったというコメントがありました。参加型も多く、フィナーレでは、通りすがりの人も踊りながら、一緒に練り歩く姿がありました。

また、世界のごはんフェスティバルも同時開催でしたので、世界のダンスを見ながら世界の料理を堪能し、流山市内で非日常を味わえたのはよかったと思います。今後も、ゴールデンウィーク明けの、鬱になりやすいこの時期に、毎年ワールドダンスフェスティバルを開催できたら幸いです。



桜子さんとパルーのダンサー



各国のダンスが会場を彩る



NIFAの出番のサルサダンスに、ゲスト講師アルマンドさんのレッスン。QRコードから動画を視聴できます。



アルマンドさんのチームとラテンダンス部のメンバー

★歌と旅するイタリア★



3月30日のイベントの話です。文化講座事業部の『ワールドハーモニー』がイベントを行いました。

イタリア語の先生は「Leonardo Zampetti(レオナルド・ザンペッティ)さん」です。

イベントは、参加した人、みんなでイタリア語の歌を練習しました。歌は『Gondoli, Gondola』です。

この歌はイタリアの『船の歌』です、船の名前は「ゴンドラ」です。この歌は、イギリスの娘さんと、イタリアの青年の恋の話です。

歌の練習でイタリア語の「発音」「表現」を学びました。歌の練習以外に、先生より、イタリアの観光地の紹介もありました。首都ローマは「古代ローマ帝国」の姿を残す街で、「おすすめ」です。

先生に、近く(日本)で本場の(本格的)イタリア料理を楽し

このぶんは、やさしいにほんごをつかっています

やさしいにほんご

むことが出来る、お店の質問をしました。神楽坂のワインとベネチア料理のレストランや、恵比寿の本格的なビザレストランを紹介されました。イタリア文化を、もっと近くで感じる事が出来ました。

このイベントには、ワールドハーモニーのメンバー以外にも8名が参加しました、イタリア文化への関心の高さを感じました。

和やかな雰囲気の中で、外国の音楽と文化を近くで感じ、とても大切な時間を楽しみました。(やさしいにほんご訳:中野明さん、外国語支援事業部)



【訃報】当協会の元会長、佐藤元子様には療養中のところ、3月22日ご逝去になりました。(享年88歳) 佐藤元子様は、当協会発足間もなく1993年に理事に就任、1997年から、副会長、会長、顧問の要職を23年に互り務められました。この間、語学委員会立ち上げ、ホームステイ中の学生と市内小中学生との交流会の開催、ワールドハーモニーの創設、NPO法人化にご尽力いただきました。ここに謹んでお知らせし、ご冥福をお祈り申し上げます。